佐野市立界小学校　校長室だより第３号

令和２年６月１日

界　の　子

緊急事態宣言が解除され、ようやく学校が再開されました。年度末の一斉臨時休業から3か月間、学校生活が送れない日々が続いてしまいました。保護者の皆様、地域の皆様、そして何より子どもたちには大変辛い思いをさせてしまいました。ご協力に感謝申し上げます。

学校再開にあたり、まずは子どもたちの心のケアに努めます。また、生活のリズムを学校生活に慣れさせていきます。そして、確実に学習を進めていきます。子どもたちのためにも、焦らずにじっくり見守っていただけますようよろしくお願いします。

【基本的生活習慣が全ての基本】

朝自分で起きることや、顔を洗うこと、用便を済ませること、朝ご飯を食べること、あいさつができること、学校の用意が自分でできること、自分で着替えができることなどを基本的生活習慣と言います。小さいときの習慣は大人になってからも身に付いているそうです。また、この習慣が身に付いていると学習に対する意欲も増すそうです。さらに、「コミュニケーション力」にも影響があると言われています。

小学校の時期にしっかりと習慣化できるように、学校と家庭で協力して行っていきたいと思います。

特色ある道徳教育支援事業～2年目を迎えました～

栃木県教育委員会から、令和元年・２年の２か年に渡り、「特別の教科道徳」の研究指定を受け、研究を進めています。今年度は研究２年目に入り、「考え、議論する道徳」の実践に向け、対話をもとに考えを深める道徳科の授業改善を図る予定です。

学校休業が続いており授業ができない状態が続いていましたが、５月の家庭学習の中で、各学年とも「友情・信頼」について教科書を使って考えてみようという課題が出されていたことと思います。学校に来られない時期が続いたからこそ、友達のよさやありがたみが感じられたり、離れていても互いに支え合うことで信頼関係が深まったりしたのではないでしょうか。議論することはできませんでしたが、一人一人が自分のこととして深く考えてくれたことをうれしく、頼もしく感じました。

この研究を通し、**自ら感じ、考え、判断し、道徳的実践ができる界の子**を育てたいと考えています。学年だより「道徳コーナー」やＨＰ等でも取組の様子をお知らせします。ご意見、ご感想等がありましたら、遠慮なくお寄せください。よろしくお願いします。